

フレッシュャーズ・キャンプ

スポーツや講演、相談会等を通じて新入生の融和を促す

フレッシュャーズ・キャンプ幹事

工学部 機械工学科 准教授 小林 志好

工学部機械工学科のフレッシュャーズ・キャンプを4月6日(金)、7日(土)の2日間にわたって開催しました。今年度の参加者は、新入生122名、上級生12名、教員15名の合計149名でした。

初日、移動中のバスでは、上級生が機親会とT.C.U Formula-SAE TEAMの紹介を行いました。先輩たちによる課外活動の報告を通じ、これから始まるキャンパスライフをイメージしながら、ものづくりへの興味と好奇心を喚起し、大学生活4年間のモチベーションを高めてもらおうとの意図があります。現地到着後は、昼から茅野体育館でバレーボール大会を実施しました。まだ少々ぎこちないながらも、学生間の融和と連帯感が徐々に醸成されていきました。夕食後は、夜間研修とクラスミーティングを行いました。夜間研修では、講演『大学における学修』で、大学で学ぶことの意義と、最近の機械工学科の履修状況について丁寧に説明しました。さらに、クラスミーティング終了後から消灯までの間、機親会とFormula-SAEによる履修相談窓口を開設しました。相談に訪れた十数名の新入生に対し、大学生活での不安が解消できるよう懇切な対応に努めました。

2日目は、日本の近代化のために最初に設置された官営模範器械製糸場である富岡製糸場を見学しました。近代化の歴史に興味を持って見学施設を回った新入生もいれば、製品のつくり方に興味を持った新入生もいました。

見学会を終え、参加者全員無事に大学へ戻ってまいりました。その後の授業では新入生のクラスに活気と連帯感を感じることができ、今年もフレッシュャーズ・キャンプを開催して非常に有意義であったと思えました。

FC実行委員長(主任教授): 大塚年久

FC実行委員: 小林志好、岸本喜直、亀山雄高

バレーボール名誉実行委員長: 白木尚人

夜間研修: 講師 藤間卓也 司会: 伊東明美

